



令和 6年 3月 吉日

にしみたか学園 保護者の皆さまへ

にしみたか学園コミュニティ・スクール委員会会長 中山 裕之
にしみたか学園学園長 三鷹市立第二中学校校長 青木 睦
にしみたか学園副学園長 三鷹市立第二小学校校長 高 崙 浩三
にしみたか学園副学園長 三鷹市立井口小学校校長 五味川 直季

令和5年度 にしみたか学園 学園・学校評価報告(抜粋版)

昨年11月から12月にかけて実施しました「令和5年度 学園・学校評価」について報告いたします。
初めにアンケートの回答にご協力頂きました皆様にお礼を申し上げます。今年度も地域の皆様宛てに用紙アンケートを併用したものの、基本的にはWebアンケート形式での実施をしました。

記述式の設問についても大変多くのご意見を頂戴しております。今後の活動に向けて参考とさせていただきます。

尚、児童・生徒、保護者、教員、地域の結果をまとめた統合報告書は学園ホームページへの掲載および、校支援による電子データのみ配布とさせて頂きました。本レポートは保護者の皆様にご回答いただいた内容の中で少しポイントとなる部分を抜き出し抜粋版としてまとめたものです。ご参考にして頂き、より詳細の内容については統合報告書を参照願います。

最後に、保護者アンケート回答率に関してですが、昨年度の報告書では回答率47%だった旨お伝えしておりました。今年はPTAによる呼びかけや、回答期間をずらし学校公開や面談に合わせての周知を試みましたが、結果的には回答率51%（前年比+2pts）という結果で大きく伸びる結果とはなりませんでしたが、しかしながら、昨年相当の回答率ということで経年での分析を進めさせて頂きました。

より精度の高い情報を提供するためにも保護者アンケートの回答率向上は必要です。お忙しいとは存じますが、次年度も何卒ご橋梁をお願い致します。

以上

◆掲載ホームページへのアクセス

にしみたか学園ホームページ

<https://www.mitaka-schools.jp/nishimitaka/chiki/csmokuji.html>



R5年度 にしみたか学園 学園・学校評価報告書

<https://www.mitaka-schools.jp/nishimitaka/chiki/documents/r5hyouka.pdf>



令和5年度 にしみたか学園 学園学校評価アンケート報告

保護者向け

にしみたか学園コミュニティ・スクール委員会



アンケート概要



ねらい

にしみたか学園全ての教職員と保護者・地域が協働し、児童・生徒が人間力・社会力を身に付けて健やかに成長できる環境をつくる



目的

令和3年度策定の「にしみたか学園アクションプラン」の浸透度を測るとともに、「にしみたか学園の育てたい児童・生徒像」の具現化に向けた方策を検討する



実施方法

調査方法：インターネット調査（一部地域団体関係者は書面）

調査期間：2023年11月～12月

対象者：にしみたか学園3校の児童・生徒（小4～中3）
全保護者・全教員・にしみたか地域団体関係者（63名）

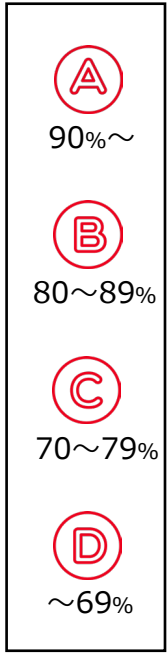


回収率

児童生徒86%、保護者51%、教員100%

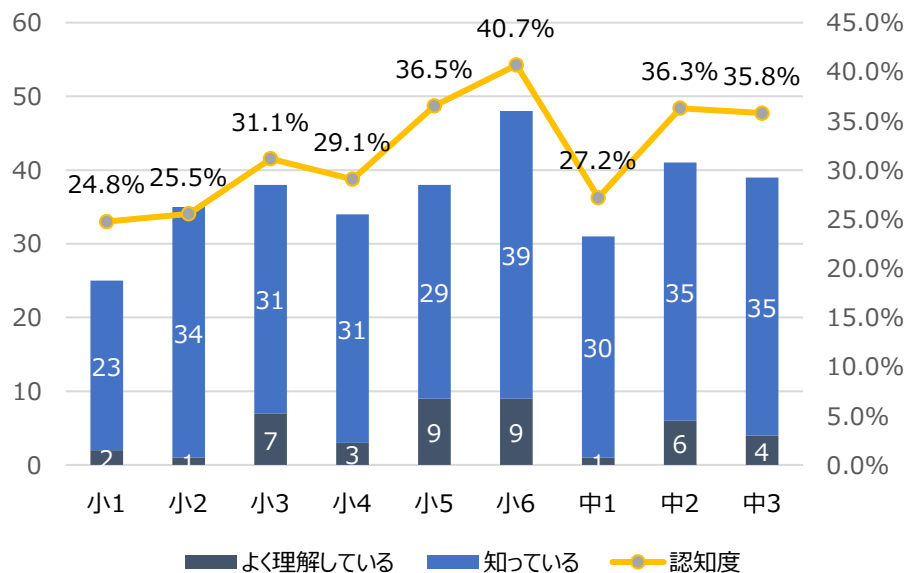
アンケート結果サマリー

目指す児童・生徒像	アクションプラン	アンケート結果
<p>自ら考え、行動し、自ら未来を切り拓いていく児童・生徒</p>	<p>子どもが目標を持つことを後押ししよう。 子どもの目標を理解し、尊重しよう。 大人も目標を持とう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 子どもの目標についての認知度 (C) ➤ 子どもの努力についての認知度 (C) ➤ 子どもの努力や目標への関与 (B)
<p>失敗を恐れず、積極的にチャレンジしていく児童・生徒</p>	<p>子どもが何に挑戦したいかを知ろう。 口を出し過ぎずに子どもを信じよう。 挑戦したこと自体を認めて次に繋げよう</p>	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 子どものチャレンジについての認知度 (C) ➤ 友達や兄弟のチャレンジへの関与 (B)
<p>常に学び続ける児童・生徒</p>	<p>なぜ学ぶのか伝えよう。 子どもの「好き」に関心をもち、大切にしよう。 「知らない」を一緒に楽しもう。 主体的な学びのきっかけ作りを手伝おう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 子どものチャレンジへの関与・姿勢 (C) ➤ 子どもへの関心・関わり (A) ➤ 子どもの自発性 (B)
<p>共に生きる力を育てていく児童・生徒</p>	<p>率先して大人がコミュニケーションをとろう。 大人として先にあいさつする姿をみせよう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 自主的なあいさつ活動 (A) ➤ 地域とのコミュニケーション (D)

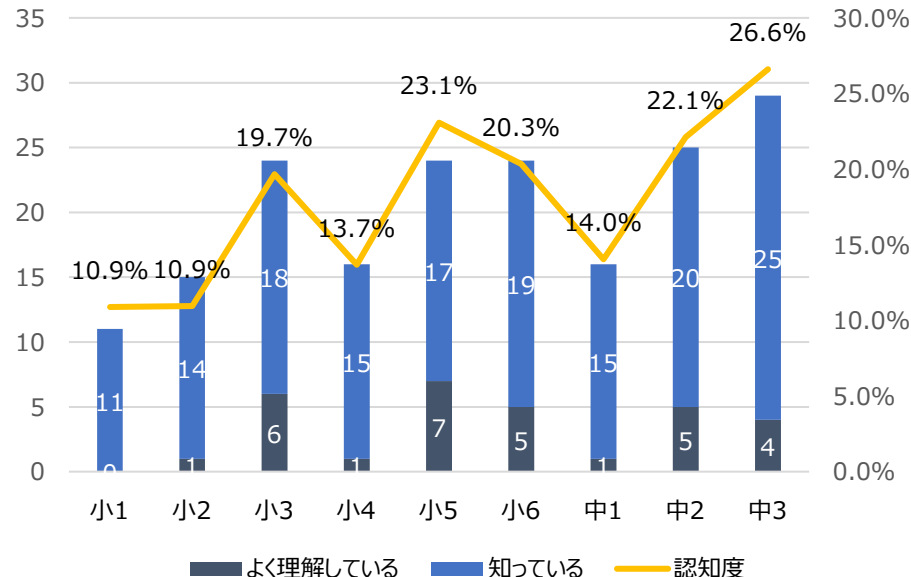


「育てたい児童・生徒像」の認知度に関する検証

にしみたか学園の育てたい児童・生徒像を知っていますか？



にしみたか学園のアクションプランを知っていますか？

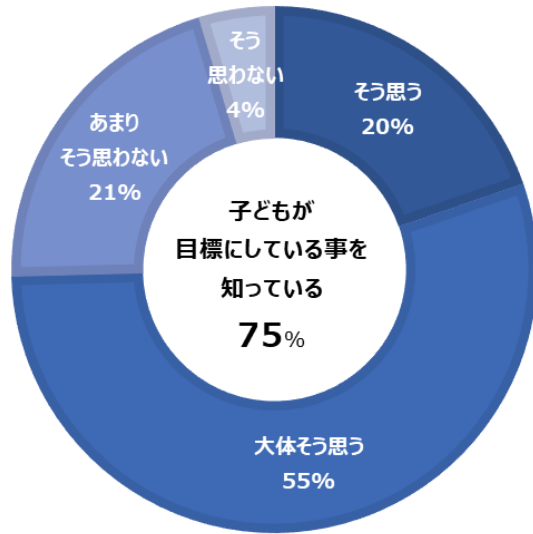


- 「育てたい児童・生徒像」の認知度については、保護者全体で「よく理解している」、「知っている」が32%であり、昨年同様に低い傾向
- 「アクションプラン」の認知度についても、保護者全体で「よく理解している」、「知っている」が18%と、こちらも昨年と同様に低い傾向
- 一方で、「見たこと・聞いたことがある※」を加えると、「育てたい児童・生徒像」の認知度が84%、「アクションプラン」の認知度が68%となっており、**保護者が目や耳にする機会はあると考えられるため**、今後は認知を記憶に残す活動を進めていく

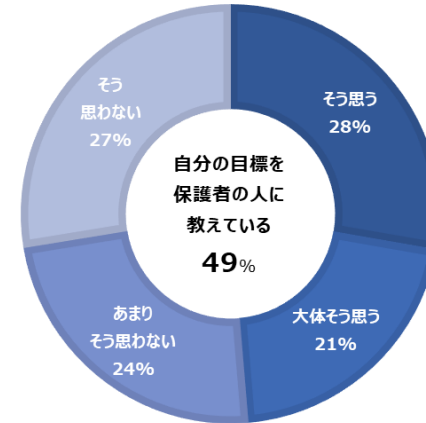
※今回から変更した選択肢

「自ら考え、行動し、自ら未来を切り拓いていく児童・生徒」に関する検証

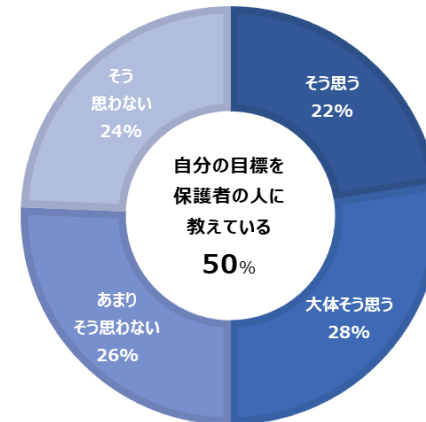
保護者回答



小学生回答



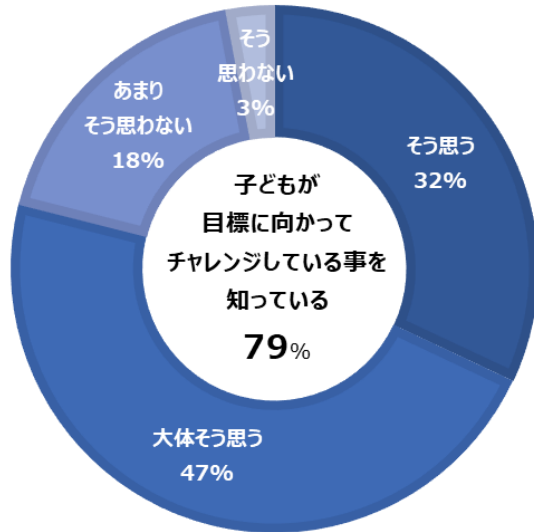
中学生回答



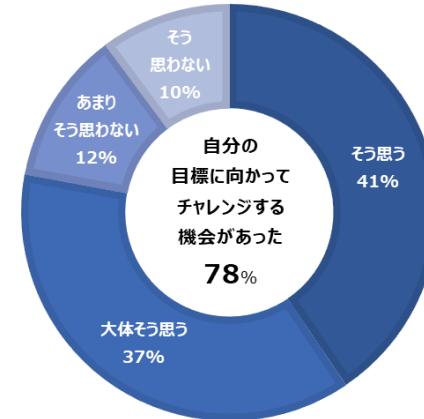
- 子どもの目標や努力に対する保護者の認知度は、概ね高い傾向にあった
- 保護者と子どもの回答を比較してみると、**目標を共有することについての認識ギャップ**も見られて趣深い
- 保護者に目標を共有することについて、小学生と中学生で差が見られなかったことも今回分かった

「失敗を恐れず、積極的にチャレンジしていく児童・生徒」に関する検証

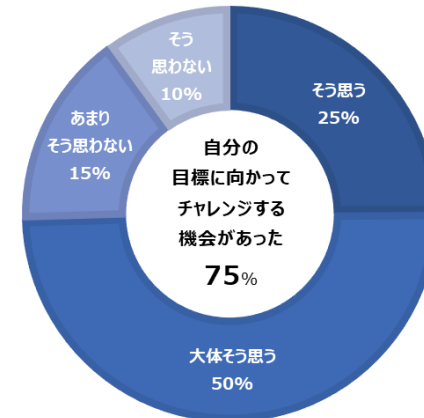
保護者回答



小学生回答



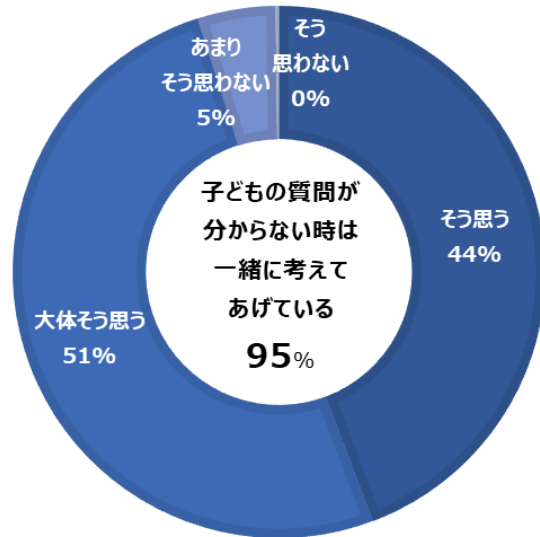
中学生回答



- 子どものチャレンジに対する認知度は8割程度と高かった
- 子どもが目標に向かってチャレンジすることの認識について、保護者と子どもで差はなかったことから、**チャレンジしている事柄については親子間で目線が合っているのでは**
- 「そう思わない」の回答割合が、保護者で少なかったということも、考えさせられる

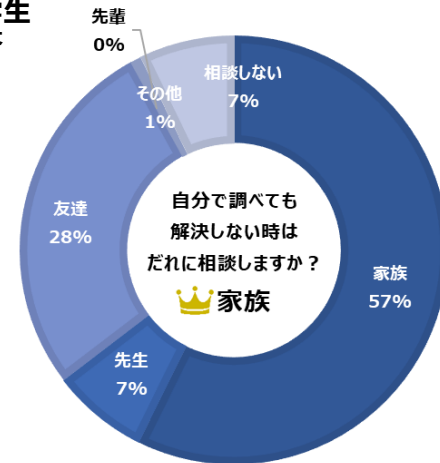
「常に学び続ける児童・生徒」に関する検証

保護者回答

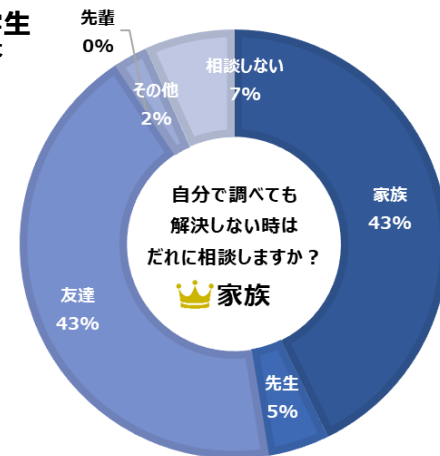


- 保護者の大多数が、子どもが分からないときには一緒に考えてあげると回答した
- 保護者の回答とも一致して、子どもが相談する相手として「**家族**」が最も多かった
- 小学生に比べると、**中学生の方が「友達」に相談する機会が多い**ことがわかる
- 小学生、中学生ともに相談相手に「**先生**」が少なかったことを踏まえ、**子どもがより先生に相談できる環境を整備していくことが必要**

小学生回答



中学生回答

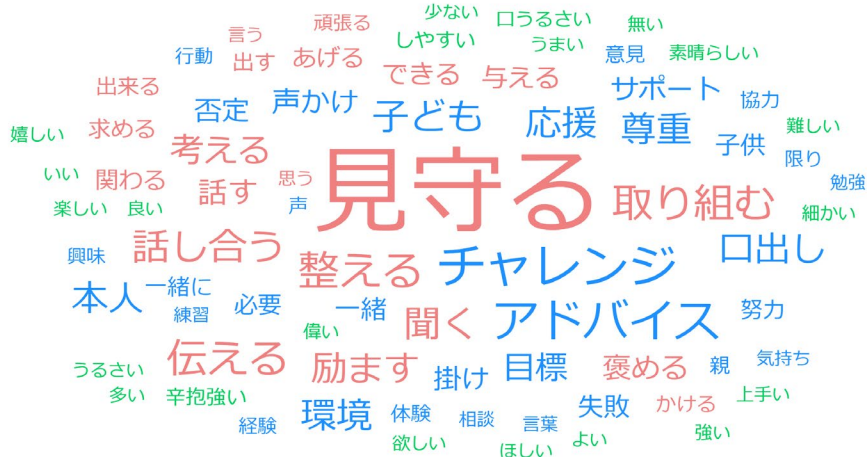


「常に学び続ける児童・生徒」に関する検証

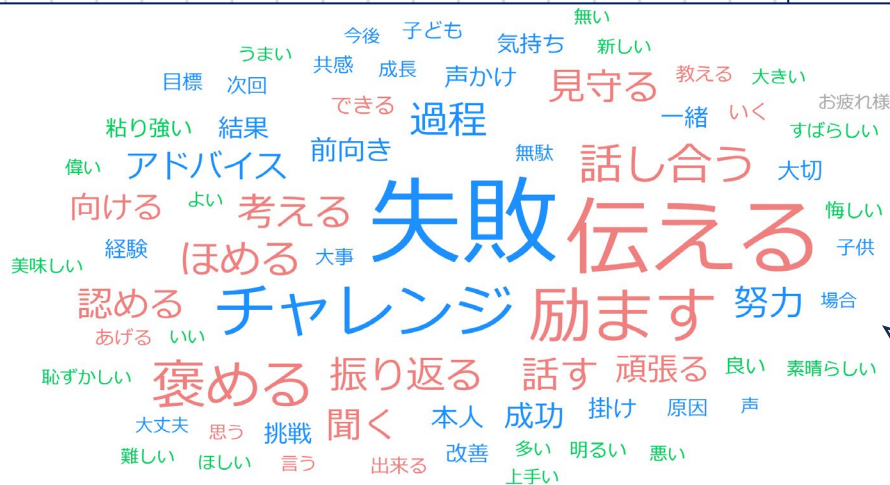
☆具体例 抜粋☆

- どういう気持ちでチャレンジしようとしているか、どうしてそう思うのかを言語化できるよう話している
- **親も一緒にチャレンジして様々な発見や取り組んだことでの成果を共に共感できるよう努めている**
- チャレンジしたいことを出来るだけ具体的な言葉にして小ステップに分けて道筋を一緒に確認する
- 少しでも進歩が見られたら**たくさん褒める**
- 「○○なら出来るよ！」と声をかけ見守る
- **マンダラチャート**を一緒に作った

子どもがチャレンジをすることに対して、保護者として子どもにどのような関わりをしていますか？



子どもがチャレンジに失敗したことに対して、保護者として子どもにどのように対応していますか？



☆具体例 抜粋☆

- **すべて成功することは珍しく、1度の失敗であきらめることはない**と伝えてます
- その経験は**必ず次にいきる**ことを伝えている
- できるだけ子供の訴えてきた言葉を反復して、**感情を受け止める**ようにしている
- クリアするために次にどこを改善したらいいかを話させたり、また次のチャンスに頑張ってもらいたいことを伝え基本的には傾聴
- 次に向けての**課題が見つかるチャンス**と捉え、次はどうしたらよいかについて話し合う貴重な機会としている



アンケート回答率について

令和4年度

保護者	学年	母数	回答数	回答率
第二小学校	1年	131	57	44%
	2年	155	50	32%
	3年	127	48	38%
	4年	127	46	36%
	5年	139	46	33%
	6年	130	38	29%
	合計		809	285
井口小学校	1年	100	58	58%
	2年	116	56	48%
	3年	113	56	50%
	4年	104	46	44%
	5年	112	65	58%
	6年	98	50	51%
	合計		643	331
第二中学校	1年	210	106	50%
	2年	203	121	60%
	3年	206	101	49%
	合計		619	328
保護者合計		2071	944	46%

令和5年度

保護者	学年	母数	回答数	回答率
第二小学校	1年	126	47	37%
	2年	133	61	46%
	3年	152	53	35%
	4年	129	49	38%
	5年	129	49	38%
	6年	136	49	36%
	合計		805	308
井口小学校	1年	92	54	59%
	2年	104	76	73%
	3年	114	69	61%
	4年	110	68	62%
	5年	107	55	51%
	6年	111	69	62%
	合計		638	391
第二中学校	1年	186	114	61%
	2年	212	113	53%
	3年	206	109	53%
	合計		604	336
保護者合計		2047	1035	51%

保護者のアンケート回答は昨年と比較して5%上昇したものの、低い傾向となった
令和5年度から、「校支援」だけでなく保護者会でのアンケート依頼や一部PTAラインなども活用して
周知したが、**抜本的な解決には至らなかった**→次年度以降に持ち越して検討する

アクションプランは子ども・学校・地域にもあります にしみたか全体で子どもたちの未来を応援していきましょう！

にしみたか学園アクションプラン

	子どもが取り組む事	家庭ができる事	学校が取り組む事	地域ができる事
自ら考え、行動し、自ら未来を切り拓いていく児童・生徒	自分で目標を決めてみよう。	子どもが目標を持つことを後押ししよう。 子どもの目標を理解し、尊重しよう。 大人も目標を持とう。	【小学校】 目標をたてさせよう。 自分で立てられるようにフォローしよう。 【中学校】 目標設定後、進行管理と振り返りを行わせよう。	キャリア教育（職場体験）の機会提供を継続する。 地域行事に子どもたちのアイデアを生かす機会を検討する。
失敗を恐れず、積極的にチャレンジしていく児童・生徒	みんなで友達を応援しよう。	子どもが何に挑戦したいかを知ろう。 口を出し過ぎずに子どもを信じよう。 挑戦したこと自体を認めて次に繋げよう。	チャレンジする環境、失敗してもチャレンジしたことを認め合う雰囲気をつくろう。 失敗へのフォローやアドバイスができる関係つくりにとりくもう。（お互いに本音で言える関係つくり）	行事やイベントで子どもたちがボランティアとして参加できる場を提供する。
常に学び続ける児童・生徒	わからないことは自分から調べ友達に聞こう。	なぜ学ぶのか伝えよう。 子どもの「好き」に関心をもち、大切にしよう。 「知らない」を一緒に楽しもう。 主体的な学びのきっかけ作りを手伝おう。	生徒の知的好奇心を高めるような、自ら学びたいと思える課題を提示しよう。 （「わからない⇒わかりたい！」の種を日常から蒔いていく）	子どもたちの学びのために、地域の大人と子どもたちの交流をする。
共に生きる力を育んでいく児童・生徒	友達の話をよく聞こう。 自分の意見を言ってみよう。	率先して大人がコミュニケーションをとろう。 大人として先にあいさつする姿をみせよう。	挨拶：ありがとう、ごめんね等、心の交流が図れる言葉をかけよう。 他人の意見を認め、自分の意見を認めてもらえる関係をつくろう。	子どもたちの見守りや挨拶を通して、子どもたちとのコミュニケーションを取る。 子どもたちと笑顔で挨拶をかわすように心がける。

